

29 (月)	ひかり けいざいかいふく み ざ りよてい 光の経済回復 – 御座の旅程300%
使 19 章 1～7 節 そこでパウロは言った。「ヨハネは、自分の後に来られる方、すなわちイエスを信じるように人々に告げ、悔い改めのバプテスマを授けたのです。」(4)	
Remnant は光の経済を回復するために、御座の旅程を見つけましょう。光の経済は教会と次世代を生かして、宣教できる経済のことです。いまは光の経済のための巡礼者の祈りを始めましょう。	
1 つ目、残りの者の祈りは、いちばん基礎です。神様がくださった御座のやぐらをもって続けて祈りましょう。すると、御座の旅程を進むようになって、永遠の道しるべを建てるようになります。すると、力ができて残る者になり、暗闇を征服する残れる者、多くの人を残す者、残す者の答えを受けます。2 つ目、霊的な力を受けるために一日に一度必ず集中祈りをしましょう。イエス様も公生涯 3 年間、そして、復活して 40 日間集中されました。このように集中するとき、現場でミッションとみこころを見つけるようになります。初代教会の信徒は 10 日間集中してみことばの成就を見ました。挑戦することが見れば 24 祈って、行くべき現場の答えを見つけました。3 つ目、Remnant はモーセのように幕屋中心、安息日中心に生活しましょう。ダビデは一生、神殿建築をおいて祈りました。そして、1 千のやぐらを建てました。ローマ 16 章の人々は、教会中心に生活しました。このように、光の経済回復のために巡礼者の祈りを始めましょう。	
* 三つの祭り：逾越祭(救い)、仮庵祭(御座)、五旬節(聖霊)のことです。	

神様、御座の旅程を見つける巡礼者の祈りが始まりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2024. 12. 31. 2025 年元旦祈禱会 2 講

30 (火)	ふっこう ひかり みち まことの復興 – 光の道しるべ
ピリ 1 章 12～14 節 兄弟たちの大多数は、私が投獄されたことで、主にあって確信を与えられ、恐れることなく、ますます大胆にみことばを語るようになりました。(14)	
Remnant にまことの復興が起こる必要があります。それでこそ、光の道しるべを建てることができます。光の道しるべを建てるために Remnant が祈るとき、どんなことが起こるのかを知りましょう。	
1 つ目、御座の働きが起こります。答えは、霊的なことが先に起こってこそ始まります。祈るとき、天の軍勢が動員されて神様の計画が成り立ちます。そして、御座が動くようになります。それゆえ、イザヤ書を見れば「終日終夜、主を休ませてはならない」と言われたのです。2 つ目、神の国が臨みます。御座が私の背景になります。イエス様が祈りを教えられたとき「御国が臨みますように」と祈りなさいと言われました。祈りで神の国をあらかじめ味わいましょう。すると、あらかじめ御座の旅程を進み、あらかじめ力を受けて御座の道しるべを建てる答えを受けるようになります。3 つ目、神の国のことが成り立つ光の道しるべに従って行くようになります。カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋、アンティオキアの道しるべを、そのとおりに進むようになります。そして、パウロが現場で受けた聖霊の導きを受けます。現場で暗闇を打ちくだいて光の絶対やぐらを建てるようになります。	
私がいる現場に光の道しるべを建てるように祈りましょう。	

神様、私にまことの復興が起きて、光の道しるべを建てる Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2025. 01. 01. 2025 年元旦祈禱会 3 講

出 25 章 1～9 節 幕屋と幕屋のすべての備品は、わたしがあなたに示す型と全く同じように造らなければならない。(9)

神様はイスラエルの民が大変な荒野の道を進むとき、幕屋を作りなさいと言われてました。幕屋は*三つの祭りを味わう所です。幕屋は神殿、すなわち教会を意味します。神様はなぜ幕屋を作りなさいと言われたのでしょうか。

最初に、暗闇を完全に打ち倒すやぐらを建てる必要があるからです。イスラエルは幕屋に 24 しました。幕屋に集まって礼拝して、(会見の天幕 中心) 幕屋に向かって家の方向も決めました。(天幕 中心) 幕屋 中心に信仰生活をしたのです。私たちが私たちの生活と、すべての中心を教会に置きましょう。2 つ目、まことの力を与えようとされるのです。出エジプトするときに起こった奇跡が刻印されて、荒野の道の事件を通して神様の力が根をおろす所が幕屋です。すると、カナン征服のための体質が備えられるようになります。これがまことの力です。3 つ目、偽りの答えではなく、まことの答えを分かなければならないからです。幕屋の至聖所は御座の祝福と御使いが臨む所です。その中には契約の箱がありました。この答えでなければ人を生かすことはできません。聖所にはともしびとパン、油、洗盤があります。これらすべてのものは、すばらしい霊的な恵みを意味します。

幕屋の意味を知って、私が準備すべき三つの庭と御座の祝福を味わいましょう。

*三つの祭り：過越祭、五旬節、仮庵祭のことです。

*三つの庭：異邦人の庭、癒やしの庭、次世代の庭のことです。

神様、どんな状況にいても幕屋 中心の生活を送る Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

ルカ 23 章 28 節 イエスは彼女たちの方を振り向いて言われた。「エルサレムの娘たち、わたしのために泣いてはいけません。むしろ自分自身と、自分の子どもたちのために泣きなさい。

Remnant は私が一生どのように伝道して生きるのかについて確実な絵を描きましょう。三位一体の神様のみことは成就、祈りの答え、救いの働きの流れを見て、祈りのやぐらを先に作れば良いのです。すると、御座の旅程と通じるべの答えはついてきます。このように霊的サミットに先になれば、どんな答えが来るのでしょうか。

1 つ目、300%の重要な答えが与えられます。まず先に祈り 300%の答えが与えられます。祈りが成り立つようになれば、Remnant の学業 300%、未来 300%の答えが来ます。神様が働かれるので、答えが与えられるしかありません。2 つ目、未来に対する 300%です。Remnant はキリストという単語を正確に知しましょう。そして、金土日時代と*三つの庭を見つけて味わいましょう。これがすべて未来になります。3 つ目、300%が準備されれば、方向が出て来ます。一つの場所、一つの地域、一つの国を生かすようになるでしょう。

Remnant には世界福音化の答えが与えられます。そのために器を準備するのです。そして、これからサミットになるので、姿勢を準備しましょう。最も重要なのは、サミットタイムを味わうことです。すべてのレムナントがサミットタイムを持ちましょう。

神様、私が一生どのように伝道するかを今から準備しますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2 (金)	えいえん む はじ 永遠に向けた始まり - いのちが刻印、根、体質に じこくひょう なる時刻表
	<p>Ⅱ テモ 3 章 14～17 節 けれどもあなたは、学んで確信したところにとどまっていなさい。あなたは自分がだれから学んだかを知っており、また、自分が幼いころから聖書に親しんできたことも知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えて、キリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができます。(14～15)</p> <p>すべての人はキリストによらなければサタンのおとし穴、枠、罫から抜け出すことはできません。キリストによって、三位一体の神様が永遠にともにいて、導いてくださいます。すると、私の考えのとおりでなく、神様の計画のとおり歩むことができます。これが福音です。この福音が幼い時から刻印されるようにしましょう。</p> <p>1 つ目、Remnant は幼い時に伝えられたことが、本人も知らない間に刻印されます。モーセが幼児幼稚のとき、正確な福音と祈りが刻印されました。それゆえ、モーセがおとなになったとき、イスラエルの民を出エジプトさせることが起こりました。2 つ目、パパやママや先生に質問があるかもしれません。なにかのできごとや事件、隣の人、親戚、教会の信徒についてのささいな質問であるかもしれません。そのとき、パパやママが答える返事を通してキリストを発見すれば良いのです。そして、これを刻印しましょう。3 つ目、葛藤が生まれるときがあります。Remnant は、ほかのことに葛藤して倒れたり、試みにあう必要はありません。神様がともにおられる神の子どもというアイデンティティを、しっかりとたくさせる機会だからです。福音とともに CVDIP が刻印されれば、ただ、唯一性、再創造の答えが与えられるでしょう。</p> <p>Remnant はダビデのように賛美して祈って、この答えを味わう時間を持ちましょう。</p> <p>神様、福音が刻印、根、体質になる Remnant の時期を送りますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン</p>

2025. 01. 03. 幼児幼稚園働き人修練会 1 講

3 (土)	えいえん む はじ い さいこう じこくひょう 永遠に向けた始まり - 癒やしの最高の時刻表
	<p>Ⅱ テモ 3 章 14～17 節 聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。(16)</p> <p>Remnant の幼い時は癒やしの最高の時刻表です。一生、生きていく基礎が作られる時間だからです。Remnant は癒やしの時刻表に何をすれば良いのでしょうか。</p> <p>1 つ目、教会で御座のやぐら、旅程、道しるべを祈りで作って、福音の力を刻印しましょう。パウロは会堂に入って Remnant に、なぜキリストでなければならぬかを教えました。そして、神の国が臨むことを体験しました。2 つ目、パパやママに祝福の祈りをしてもらいましょう。親と教師には Remnant を祝福する祝福権があります。モーセを幼いときに王宮に送らなければならないモーセの母親は、どれほど多く祈ったのでしょうか。イエス様も子どもたちを呼んで、抱いて祝福の祈りをされました。この祈りを通して霊的問題から解放されます。3 つ目、家庭でパパやママと一っしょにすることがあります。家庭礼拝や食事時間にするパパやママとのフォーラムです。時間を定めて家族新聞やニュースを作ってみるのも良いでしょう。この時間を通して、幼いときに霊的な病気が完全に癒やされるでしょう。そして、癒やす人として世の中に出て行くのです。</p> <p>Remnant のときに福音の力を刻印して、霊的な病気が癒やされる時刻表の答えを受けましょう。</p> <p>神様、福音の力で私の基礎が作られる Remnant の時間になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン</p>

2025. 01. 03. 幼児幼稚園働き人修練会 2 講